

ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間の創出

4つの 基本コンセプト

人の交流の拠点となる
象徴的な空間に

交通とモノが行き交う
新しい交通結節点に

進取の気性
あふれる環境に

神戸が培ってきた経験や
知恵を活かした空間に

5つの 整備方針

①魅力的な駅前空間の整備
及びまちの回遊性向上

②中・長距離バスターミナル整備
によるモーダルコネク트의強化

③まちの
防災拠点

④未来志向の
移動支援導入

⑤ 国道2号周辺の
交通円滑化

～6つの駅と点在する中・長距離バス停をひとつに～

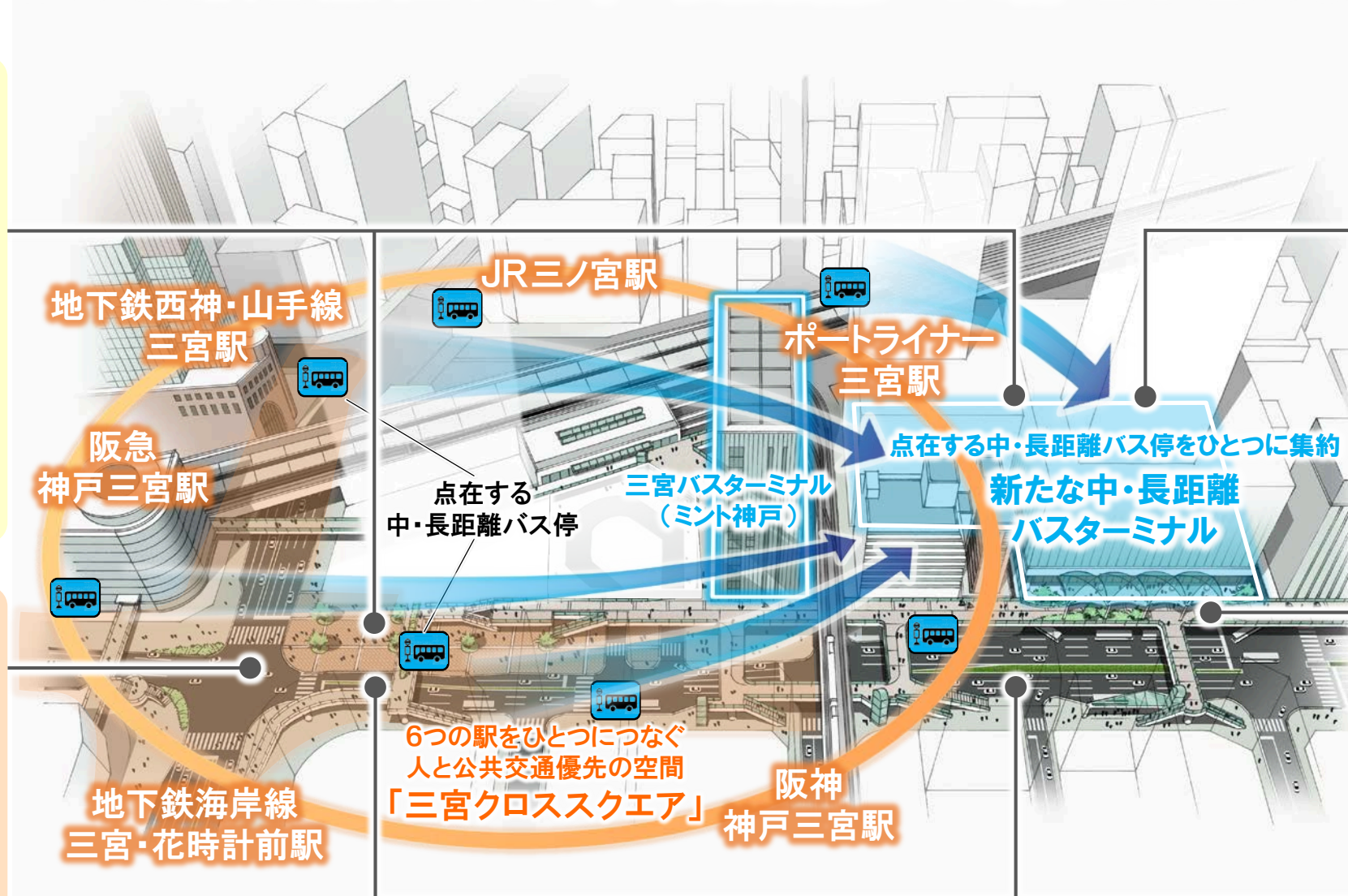
防災都市・神戸の 駅前防災拠点

三宮クロススクエアで
災害情報や公共交通
機関の運行情報等を提供

再開発ビルを一時滞在
施設等として活用すると
ともに、新バスターミナル
に鉄道の代替輸送機能
等を整備

魅力的な駅前空間 を創出する 三宮クロススクエア

道路を人と公共交通優先
の空間に転換する「三宮
クロススクエア」により、
“ひと”中心の空間を地上
に整備



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

集約型公共交通 ターミナル

中・長距離バスや新たな
モビリティなど、多様な
モードを利用しやすい新た
な交通結節点を整備

人の賑わいと回遊性 を創出するデッキ

三宮クロススクエアと再開
発ビルが一体となった賑わ
い空間の創出や神戸三宮
駅前空間の回遊性を向上
するためのデッキを整備

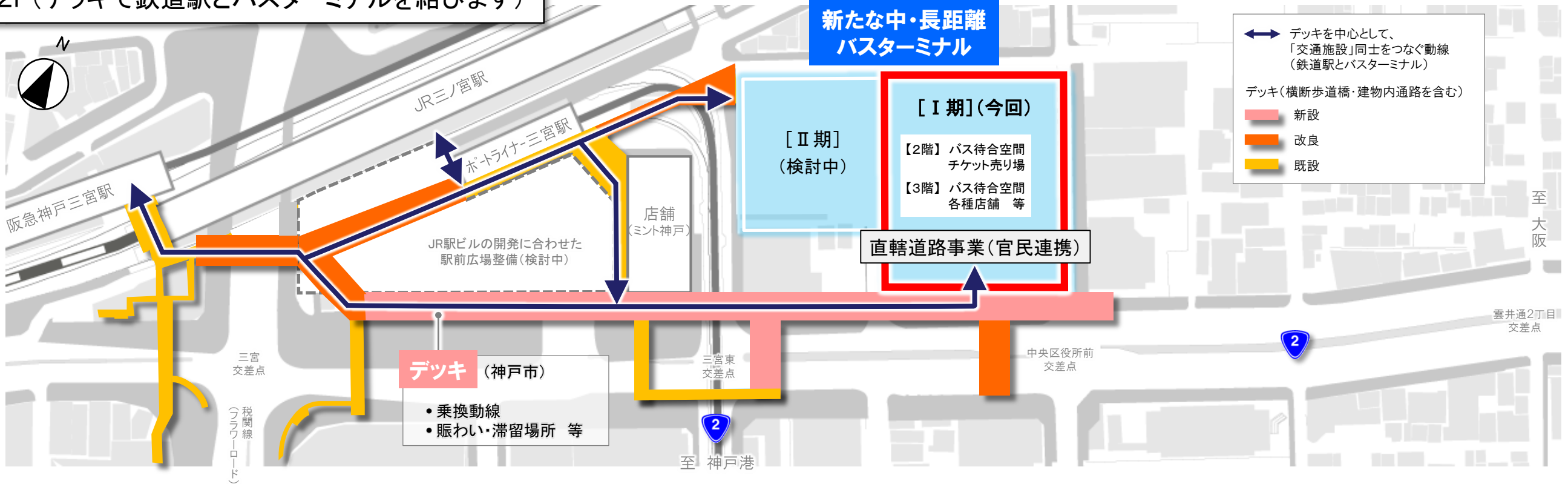
回遊性を向上させる モビリティネットワーク

道路や神戸三宮駅前空間
の回遊性を向上させる
新たなモビリティネットワ
ークを構築

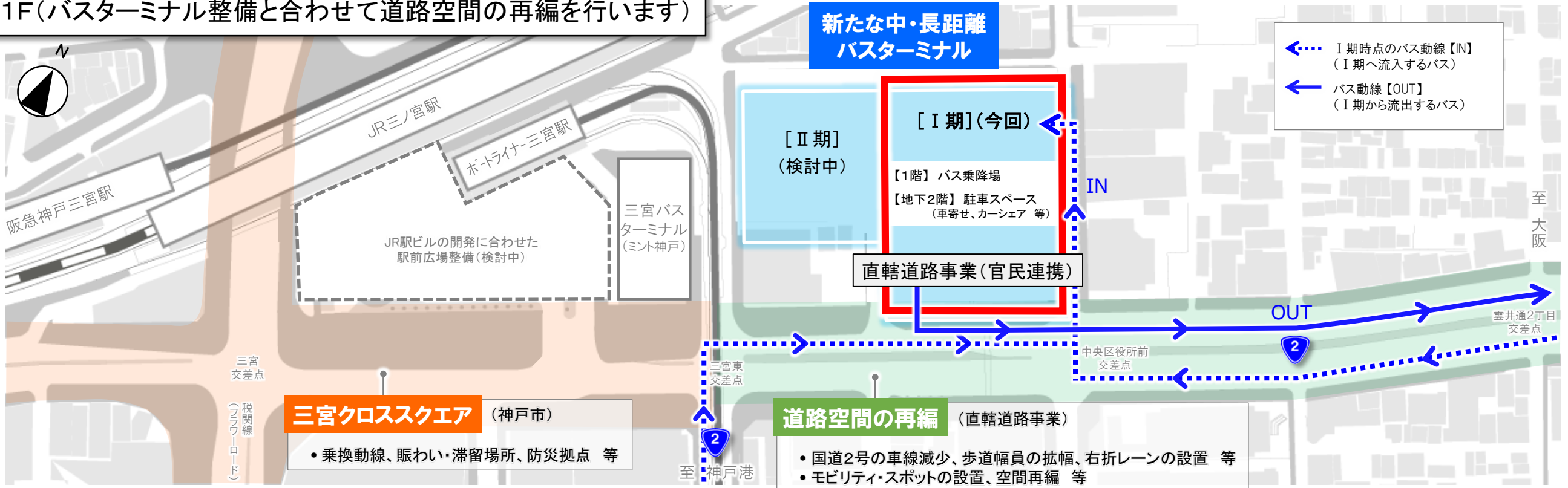
施設配置計画と事業区分【平面図】

国道2号等 神戸三宮駅前空間整備
事業計画(案) (概要)

2F(デッキで鉄道駅とバスターミナルを結びます)

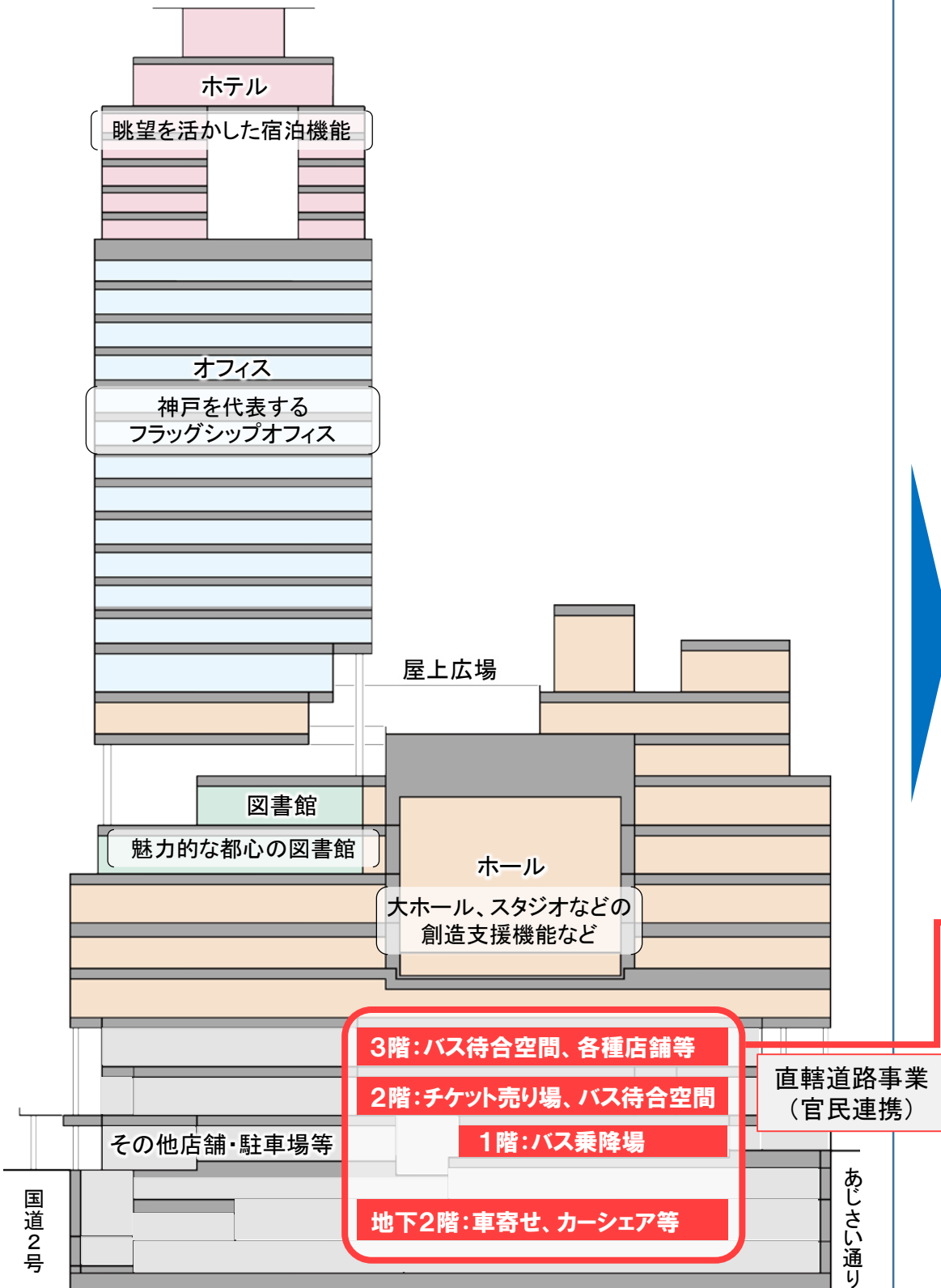


1F(バスターミナル整備と合わせて道路空間の再編を行います)



※今後、民間事業者等との協議で変更になる場合があります。

再開発ビル



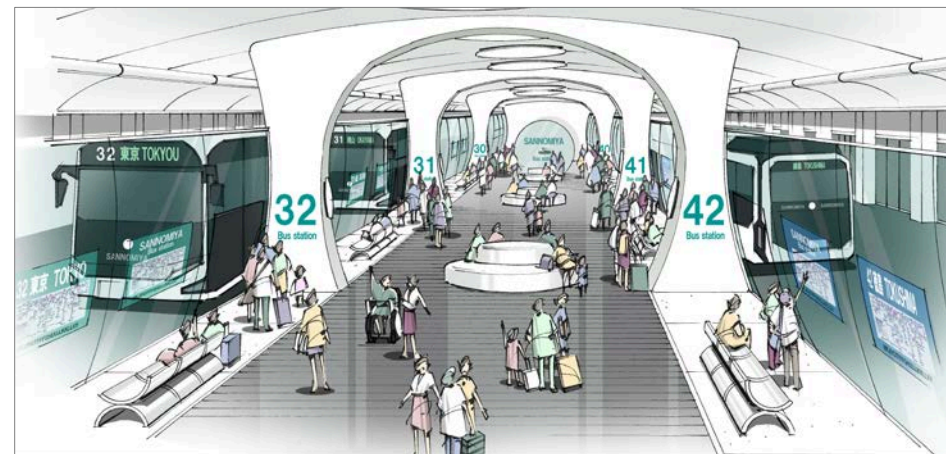
<再開発ビル(I期)の構成イメージ>

新たな中・長距離バスターミナル

中・長距離バス停の段階的な集約、神戸らしさが演出された充実したバス待合空間の整備とともに、2次交通として、多様なモビリティなども利用できる交通結節点を整備し、乗換・待合環境を改善。



<待合空間のイメージ(2階・3階の吹抜け)>



<バス乗降空間のイメージ(1階)>



防災拠点

災害時に再開発ビルを一時滞在施設等として活用するとともに、新バスターミナルに鉄道の代替輸送機能及び多言語に対応した情報発信機器等を整備し、安全・安心な空間を創出。

※三宮クロススクエアとも連携

事業スケジュール

国道2号等 神戸三宮駅前空間整備
事業計画(案) (概要)

第1段階 (2026年度頃まで)

バスターミナル	デッキ	道路改良
I 期完成 ・乗車バス停の一部集約*	デッキの概成 (神戸三宮駅から新バスターミナルまでを接続)	国道2号の交差点改良等の整備

(周辺開発等: 三宮クロススクエア東側車線減少)



第2段階 (~2030年度頃まで)

バスターミナル	デッキ	道路改良
II 期完成 ・乗車バス停を集約* ・降車バス停をミント神戸に集約*	II 期事業に伴う接続部の改良	国道2号の交差点改良等の整備

(周辺開発等: 三宮クロススクエア東側完成)



第3段階 (将来)

バスターミナル	デッキ	道路改良
(整備済み)	(整備済み)	国道2号の交差点改良等の完成

(周辺開発等: 三宮クロススクエア完成)



※今後バス事業者との協議で変更になる場合があります。